

WEBデザイン実習 「オーサリングツールの活用法」

Adobe Dreamweaver 編

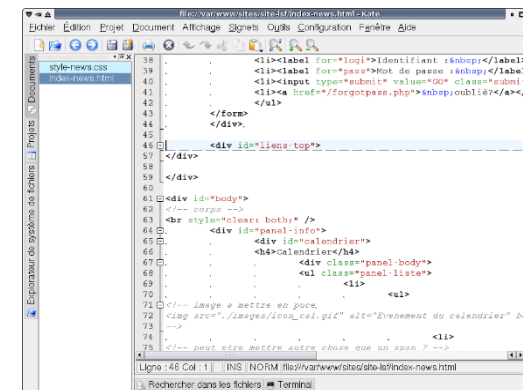
オーサリングツールとは？

Webオーサリングツール

Webオーサリングツール（ウェブオーサリングツール）とは、いわゆるウェブページ作成ソフトのことで、ウェブページを構成するHTML、CSSなどのファイルを編集するデザインツールである。インターネットの黎明期から存在し、フリーウェアも多い。HTMLエディタのようにソースコードを編集するのではなく、ワープロソフトあるいはグラフィックソフトウェアのような感覚で、視覚的に編集するツールを指す場合がほとんどである。参照：ウィキペディア (Wikipedia)

主なウェブオーサリングツール

- Adobe Dreamweaver (アドビシステムズ)
- Adobe Contribute (アドビシステムズ)
- Aptana Studio (Aptana Inc.)
- Amaya (W3C)
- BiND for WebLiFE (デジタルステージ。CMS的なウェブオーサリングツール)
- BlueGriffon (オープンソース、Nvu、KompoZerの後継)
- iWeb (アップル「iLife」に含まれる。)
- KompoZer (オープンソース、Nvu の修正版)
- Microsoft Expression Web (マイクロソフト。前身は Microsoft FrontPage。Windows専用)
- Mozilla Composer (Mozilla Organization)
- Nvu (オープンソース、Mozilla Composer の独立化アプリケーション)
- ホームページ・ビルダー (IBM、ジャストシステム)
- ホームページV3・ZERO (ソースネクスト)



Adobe Dreamweaverを活用してみよう。

Adobe Dreamweaverとは？

Adobe Dreamweaver（アドビ ドリームウィーバー）は、ひとことで言うとホームページ制作ソフトです。編集機能やレイアウトの表示機能、ファイル管理機能など、制作や更新作業に必要な機能がひとまとめになっている、統合ソフトウェアとなります。アドビ システムズのホームページでは、“Webデザインソフトウェア、HTMLエディター”となっています。“Webオーサリングツール”や“Webサイト作成ソフト”などとも呼ばれます。ホームページは基本的に「HTML+画像」なので、頑張れば「メモ帳+ペイント」でもなんとか作れます。しかし、作業効率などやミスの防止などを考えると、専用ソフトを利用した方が効果的です。

Dreamweaverの歴史

Dreamweaverの歩んできた歴史は長く、10年以上もバージョンアップを続けています。もともとはMacromedia（マクロメディア）社の製品でしたが、MacromediaがAdobe Systemsに買収され、以降はアドビ製品としてリリースされています。

Dreamweaverのバージョン			
Dreamweaverのバージョン	内部Ver	日本語版	該当するスイート製品
		発売年	（統合パッケージ）
Macromedia Dreamweaver J	1.2	1998	
Macromedia Dreamweaver 2J	2	1999	
Macromedia Dreamweaver 3J	3	2000	
Macromedia Dreamweaver 4 / UltraDeveloper 4	4	2001	
Macromedia Dreamweaver MX	6	2002	Macromedia Studio MX
Macromedia Dreamweaver MX 2004	7	2003	Macromedia Studio MX 2004
Macromedia Dreamweaver 8	8	2005	Macromedia Studio 8
Adobe Dreamweaver CS3	9	2007	Adobe Creative Suite 3
Adobe Dreamweaver CS4	10	2008	Adobe Creative Suite 4
Adobe Dreamweaver CS5	11	2010	Adobe Creative Suite 5
Adobe Dreamweaver CS5.5	11.5	2011	Adobe Creative Suite 5.5
Adobe Dreamweaver CS6	12	2012	Adobe Creative Suite 6
			Adobe Creative Cloud

Adobe Dreamweaver活用法

もくじ

- Dreamweaverを起動してみましょう。
- サイトの定義をしてみましょう。
- 環境設定を整えてみましょう。
- 文字やコードを入力してみましょう。
- CSSを編集してみましょう。
- 検索・置換のやり方
- サーバーにアップロードしてみましょう。



Adobe
Dreamweaver CC

■ Dreamweaverを起動してみましょう。

バージョンによって異なりますが、Dreamweaver最初の起動画面ではこのような画面が出てきます。



「最近使用したファイルを開く」について

こちらは最近使用したファイルの一覧が表示されていて、すぐにファイルを開く事が出来ます。

「新規作成」について

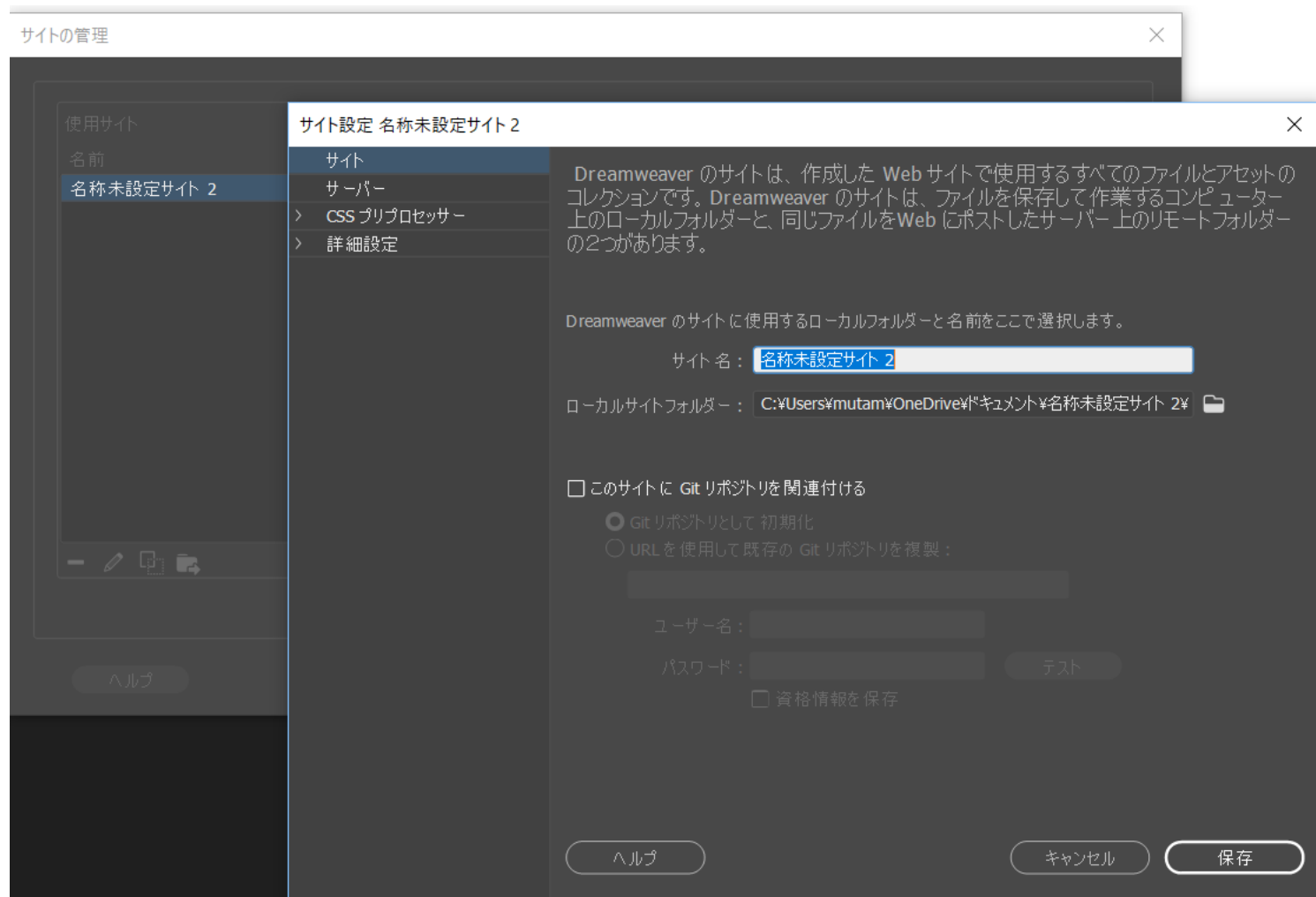
こちらでは新規にHTMLファイルやCSSファイルを作成したいときに使用します。

「主な機能」について

こちらではDreamweaverの主な機能を紹介しているウェブページへの案内をしてくれます。

■ サイトの定義をしよう！

サイトを作るときはサーバーにアップロードする前に、ローカル上で同じ構造のフォルダーを作成し、その構造通りにサーバーにアップロードします。その為、ローカル上の何処にサイトを保存しておくか等を定義しておく必要があるなので、サイト作りをする前にここから始めていきましょう。



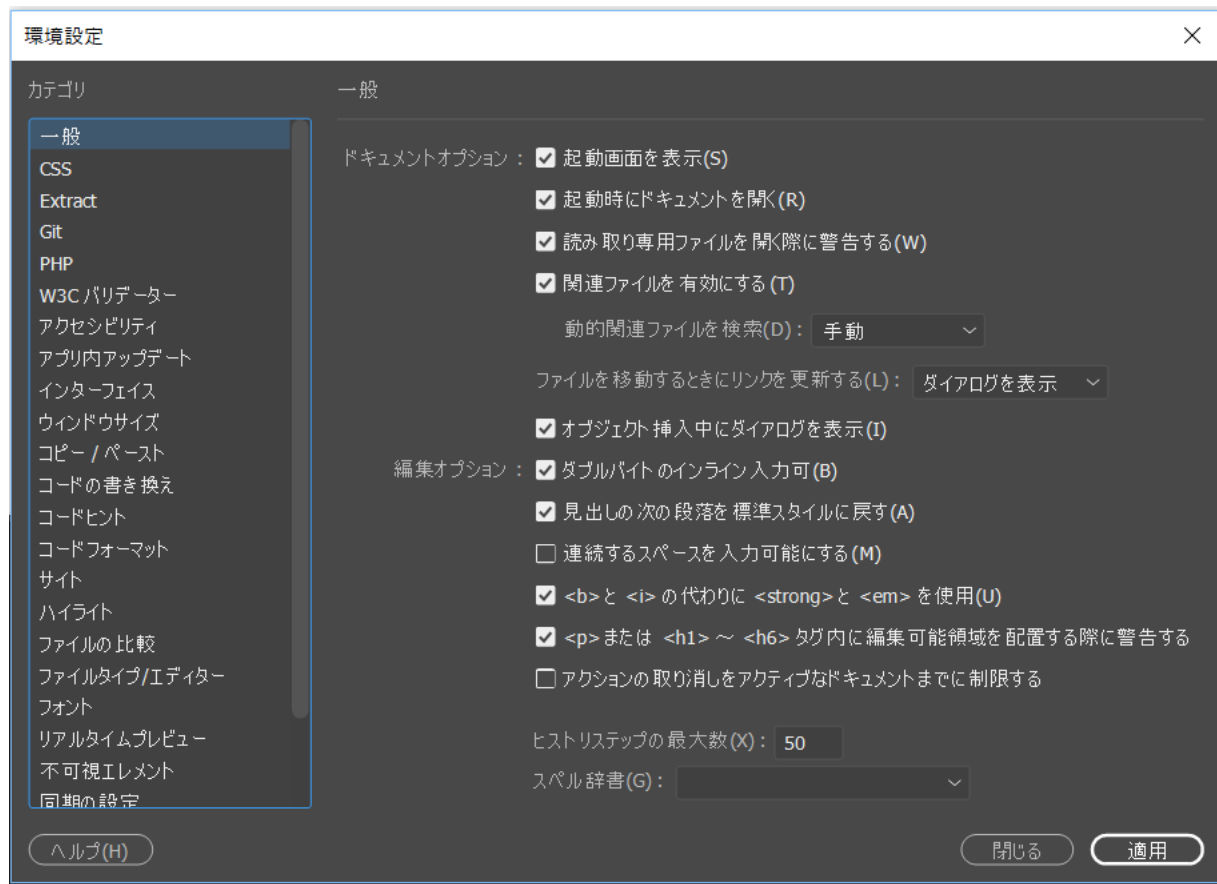
まずは「デフォルトのイメージフォルダー」を設定します。

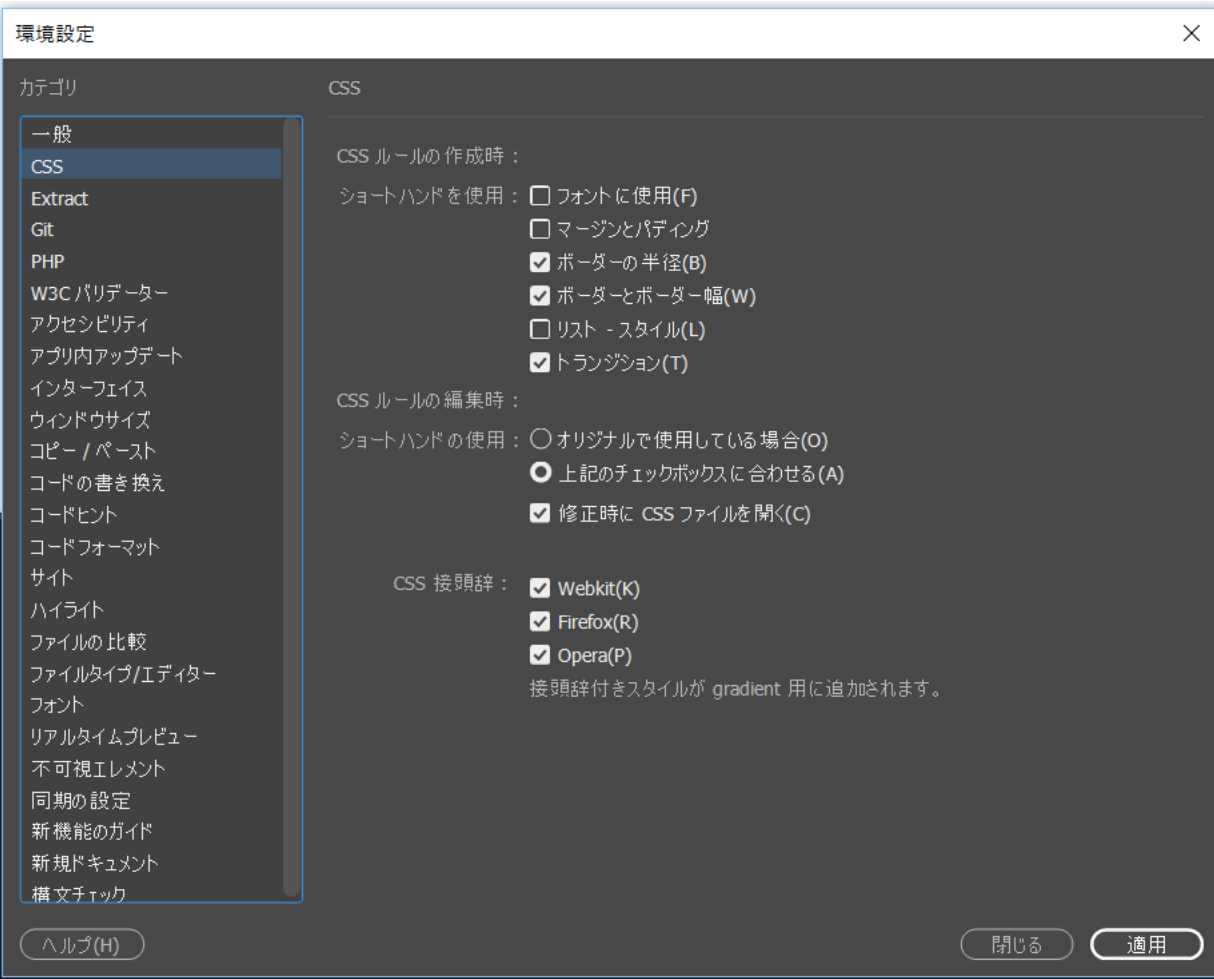
■環境設定を整えてみましょう。

自分の使いやすい様に環境を整える事と大変便利です。

ここではサイト毎の環境ではなく、Dreamweaverの環境設定なので、文字コードやインデントなどの設定は各サイト毎に整える必要があります。まず編集メニューから環境設定を選びます（MacではDreamweaverメニューから環境設定）

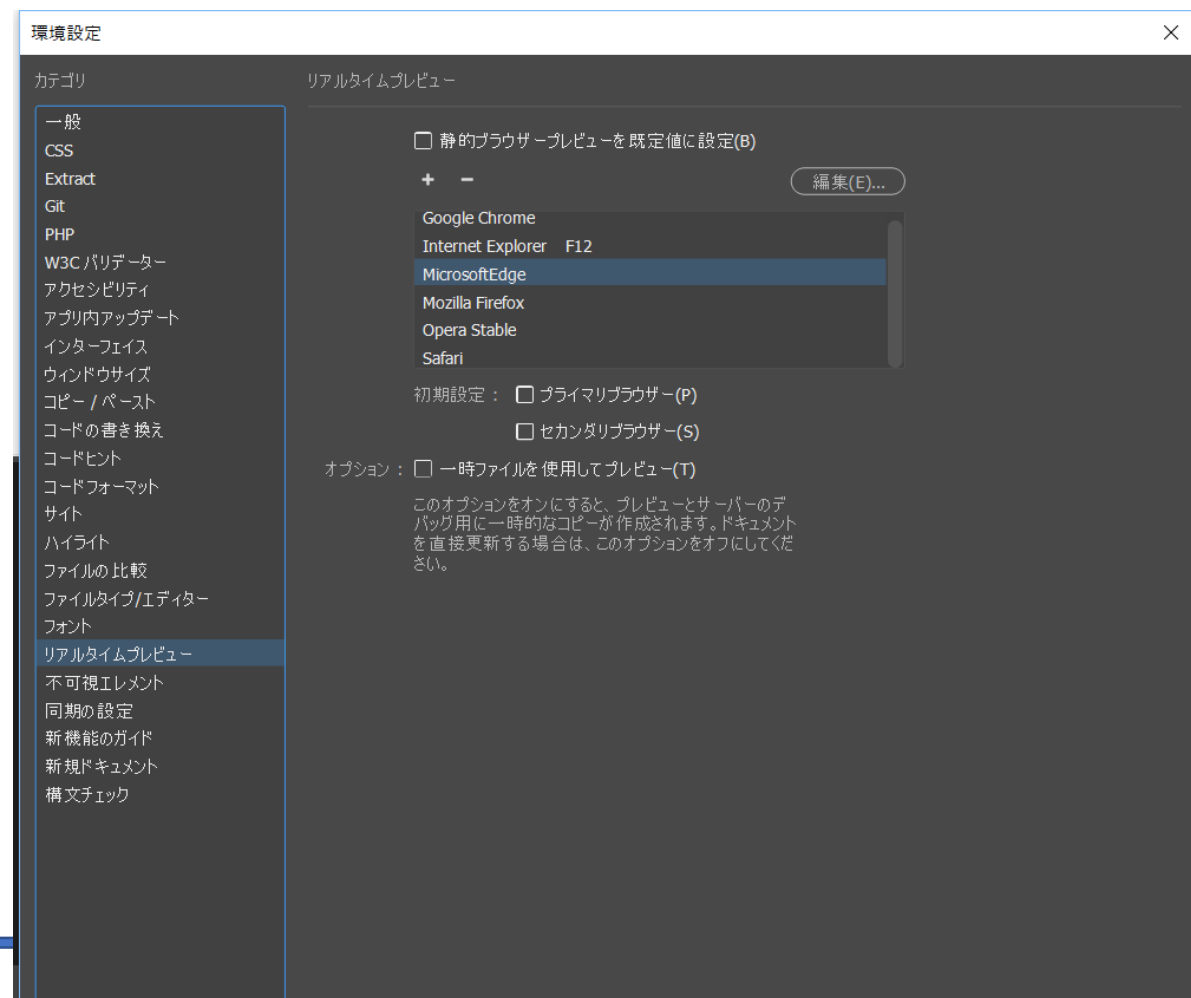
ナビゲーションメニュー>編集>環境設定

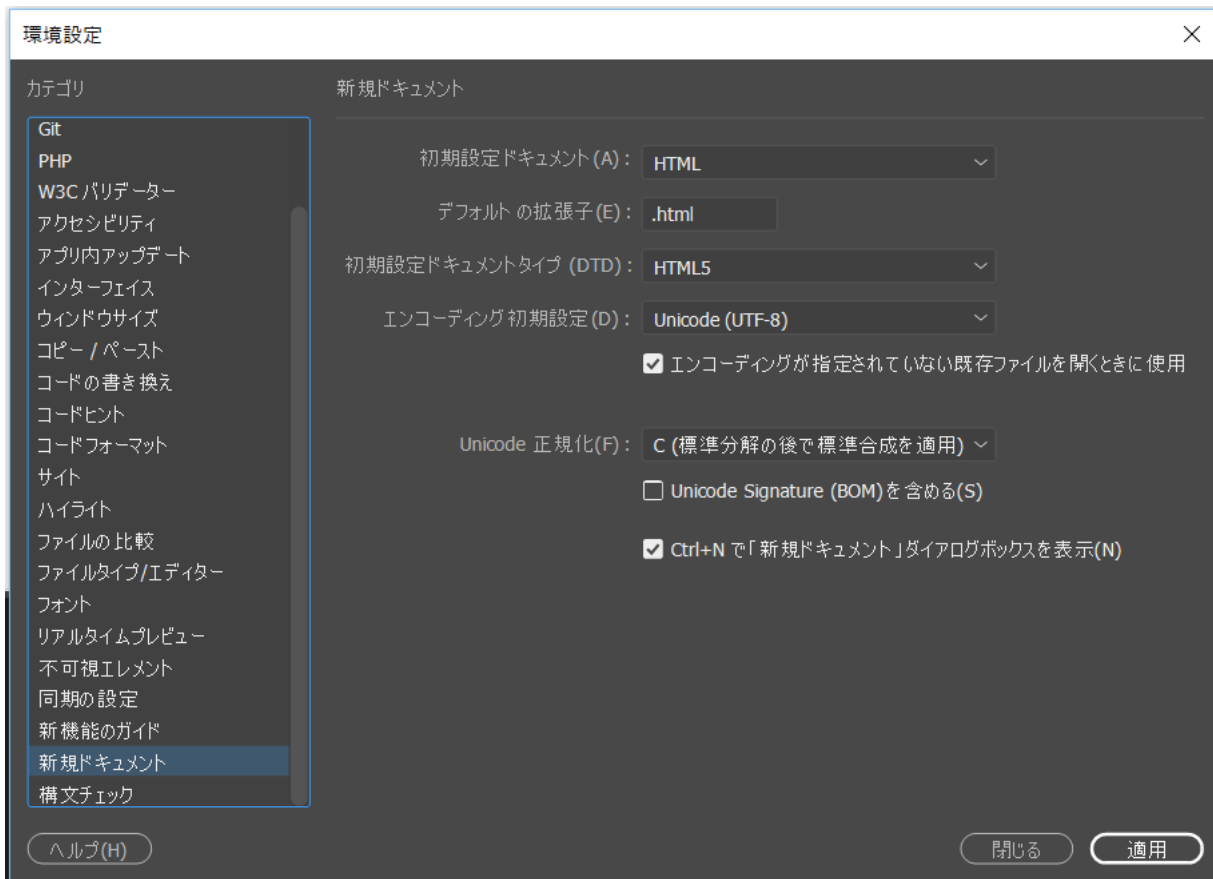




・リアルタイムプレビュー
ブラウザチェック「F12」の設定が出来ます。

・CSS ショートハンド
CSSプロパティのショートハンドの設定が変更できます。



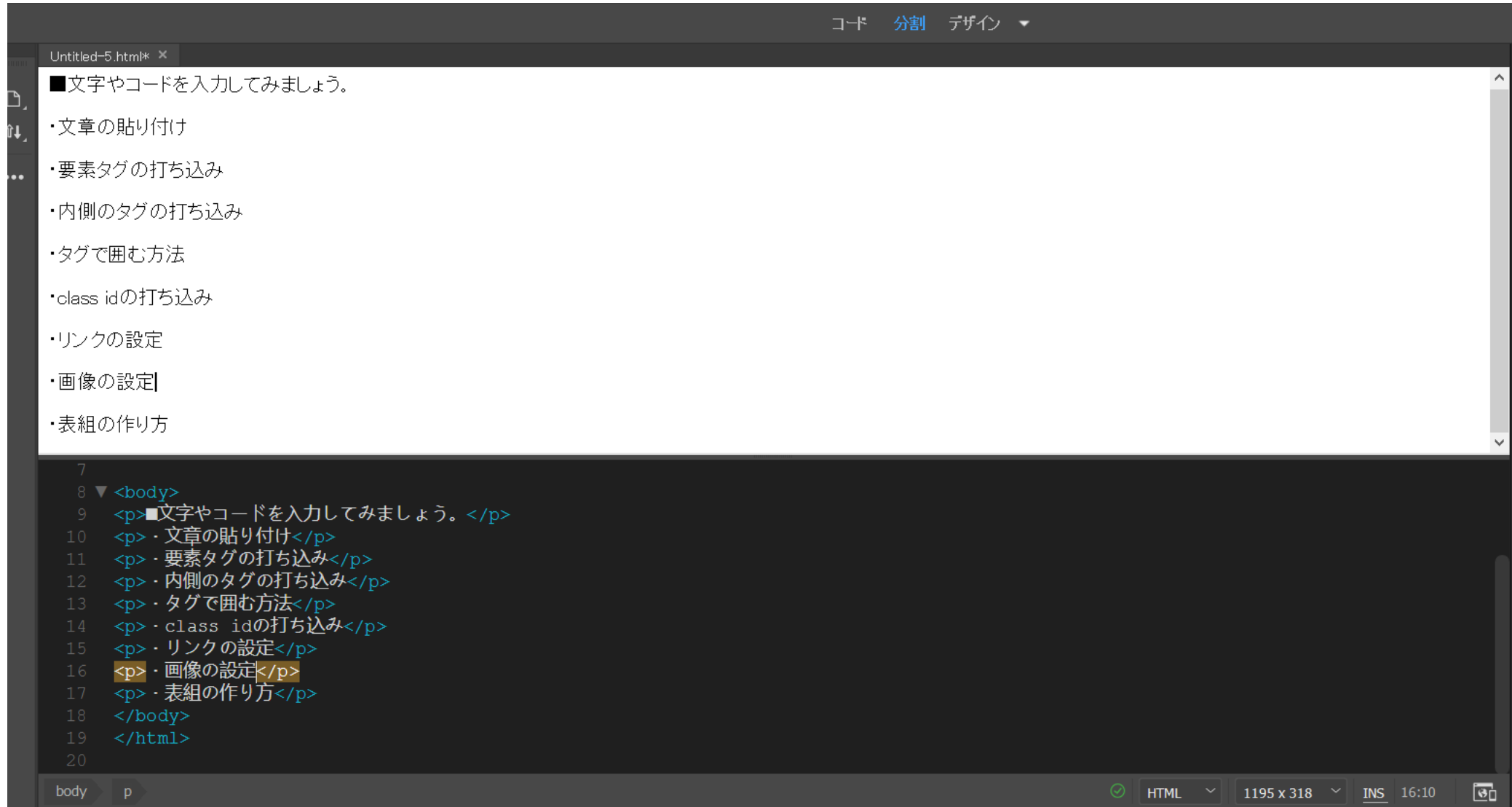


・新規ドキュメント
新規作成時の初期設定を行えます。

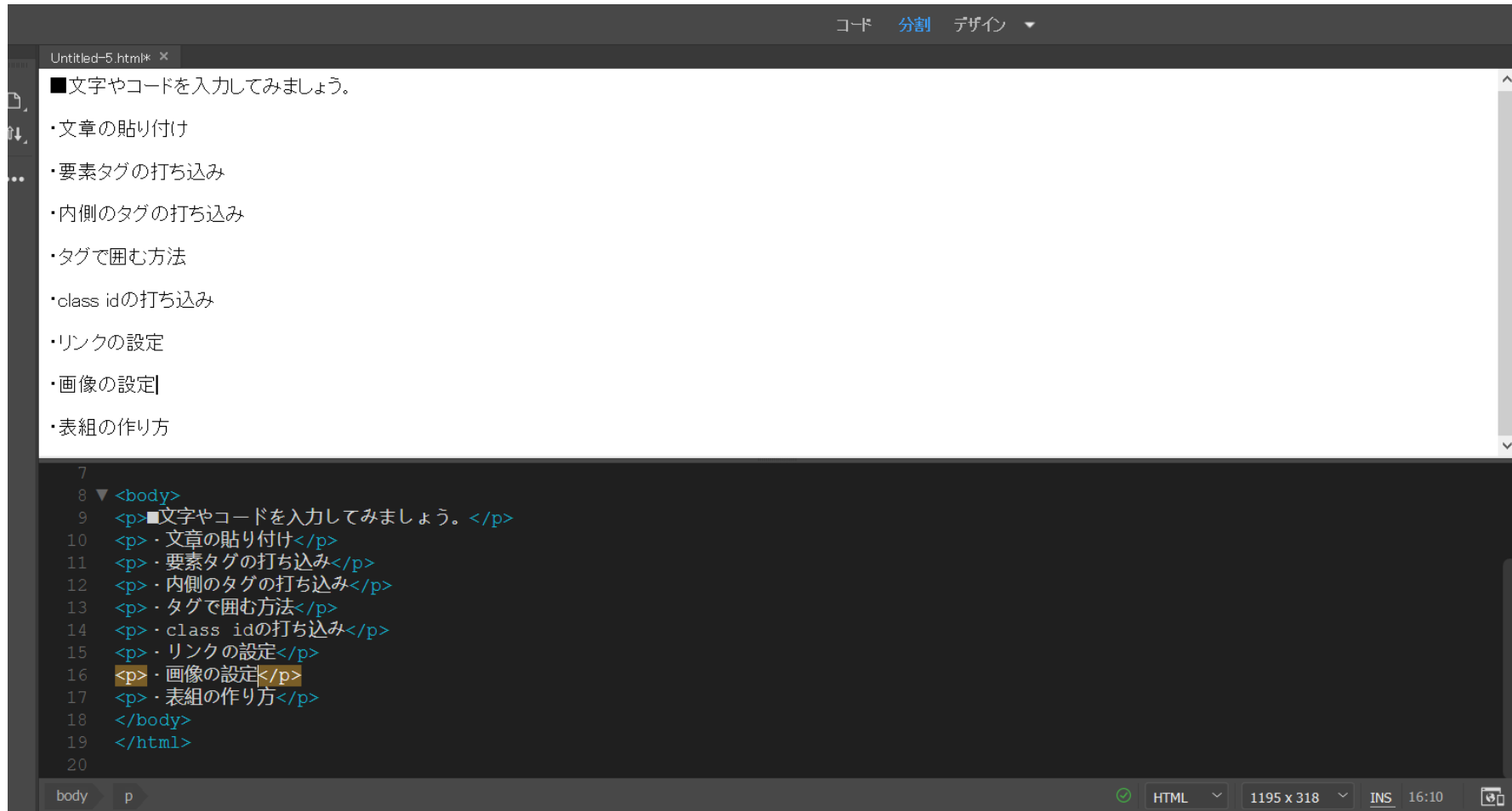
※その他、様々な設定が行えます。適時変更できると想定しておきましょう。

■文字やコードを入力してみよう！

このモードはサイトを視覚的に捉えられるモードとなっていて、文字を直接書き込んでいくことも可能です。



■文字やコードを入力してみましょう。



【ポイント!】

Dreamweaverの利点はコードを触らずに「目視（見て確認）」だけでファイルを作成できることです。
コードビューを触らずに作成してみましょう。

■文字やコードを入力してみましょう。

- ・文章の貼り付け
- ・要素タグの打ち込み
- ・内側のタグの打ち込み
- ・タグで囲む方法
- ・class idの打ち込み
- ・リンクの設定
- ・画像の設定
- ・表組の作り方

```

7
8 ▼ <body>
9   <p>■文字やコードを入力してみましょう。</p>
10  <p>・ 文章の貼り付け</p>
11  <p>・ 要素タグの打ち込み</p>
12  <p>・ 内側のタグの打ち込み</p>
13  <p>・ タグで囲む方法</p>
14  <p>・ class idの打ち込み</p>
15  <p>・ リンクの設定</p>
16  <p>・ 画像の設定</p>
17  <p>・ 表組の作り方</p>
18 </body>
19 </html>
20

```

・要素タグの打ち込み

<p>タグを基準に様々なタグに変更できます。
「プロパティ」より変更可能です。

・文章の貼り付け

テキストファイルからコピーで、改行は
 改行+すぺーすなら<p>になります。

■文字やコードを入力してみましょう。

- ・文章の貼り付け
- ・要素タグの打ち込み
- ・内側のタグの打ち込み
- ・タグで囲む方法
- ・class idの打ち込み
- ・リンクの設定
- ・画像の設定
- ・表組の作り方

```

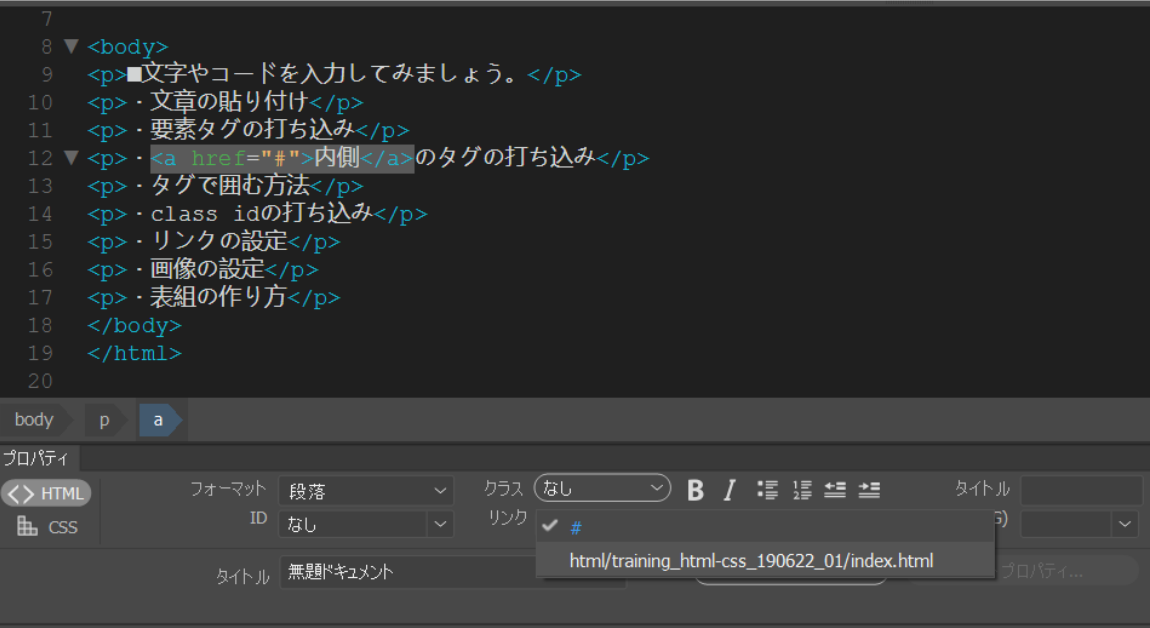
7
8 ▼ <body>
9 <p>■文字やコードを入力してみましょう。</p>
10 <p>・ 文章の貼り付け</p>
11 <p>・ 要素タグの打ち込み</p>
12 <p>・ 内側のタグの打ち込み</p>
13 <p>・ タグで囲む方 なし
14 <p>・ class idの 設定 ✓ 脱落
15 <p>・ リンクの設定 見出し 1
16 <p>・ 画像の設定 見出し 2
17 <p>・ 表組の作り方 見出し 3
18 </body> 見出し 4
19 </html> 見出し 5
20

```

- なし
- ✓ 段落
- 見出し 1
- 見出し 2
- 見出し 3
- 見出し 4
- 見出し 5
- 見出し 6
- プリフォーマット

■文字やコードを入力してみましょう。

- ・文章の貼り付け
- ・要素タグの打ち込み
- ・**内側**のタグの打ち込み
- ・タグで囲む方法
- ・class idの打ち込み
- ・リンクの設定
- ・画像の設定
- ・表組の作り方

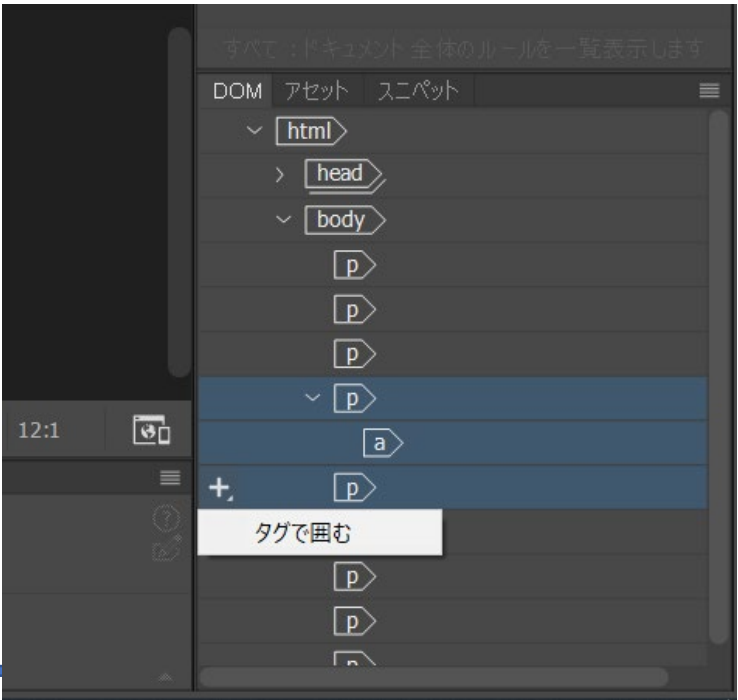


・タグで囲む方法

<div>タグなど要素タグの外側に囲むタグを設定できます。
DOMより編集可能です。

・内側のタグの打ち込み

<a>などのリンク用のタグを挿入できます。
対象箇所をドラックして「プロパティ」より編集できます。





■文字やコードを入力してみましょう。

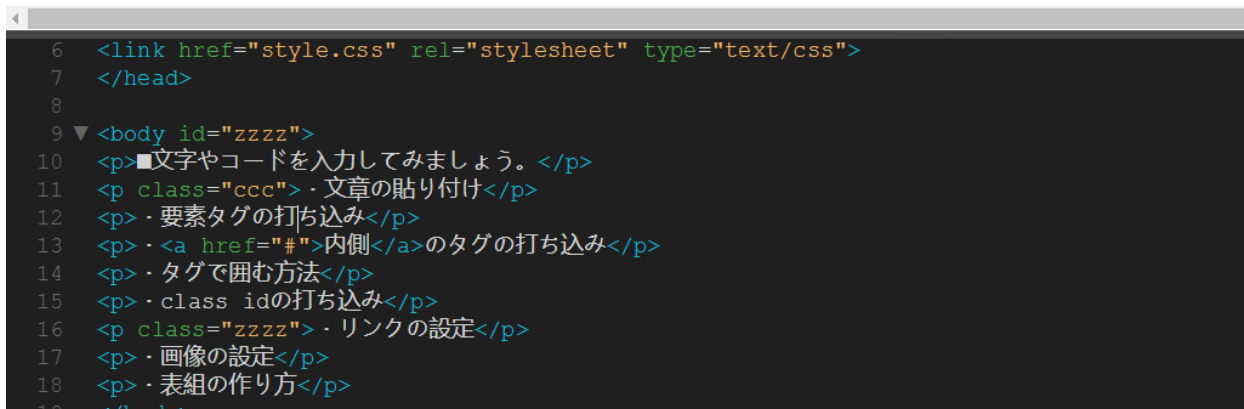
・文章の貼り付け

≡ p .xyz +

・要素タグの打ち込み

・内側のタグの打ち込み

・タグで囲む方法



・画像の設定

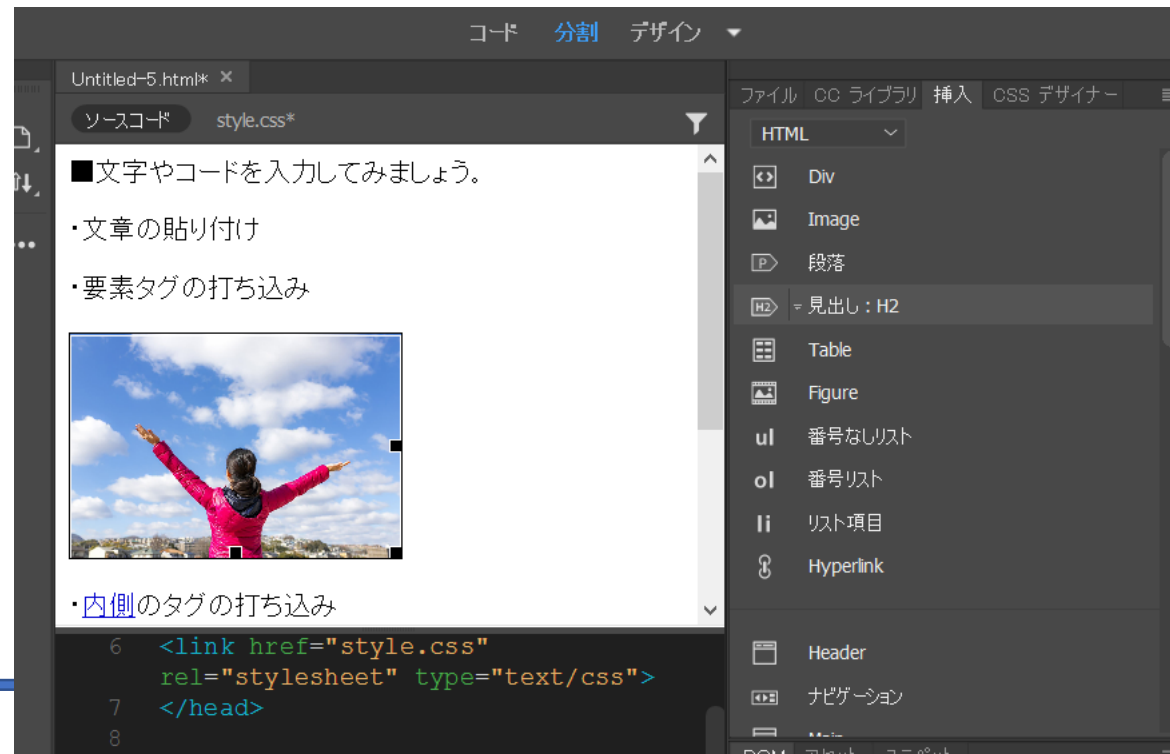
挿入パネルから画像を選んで挿入できます。

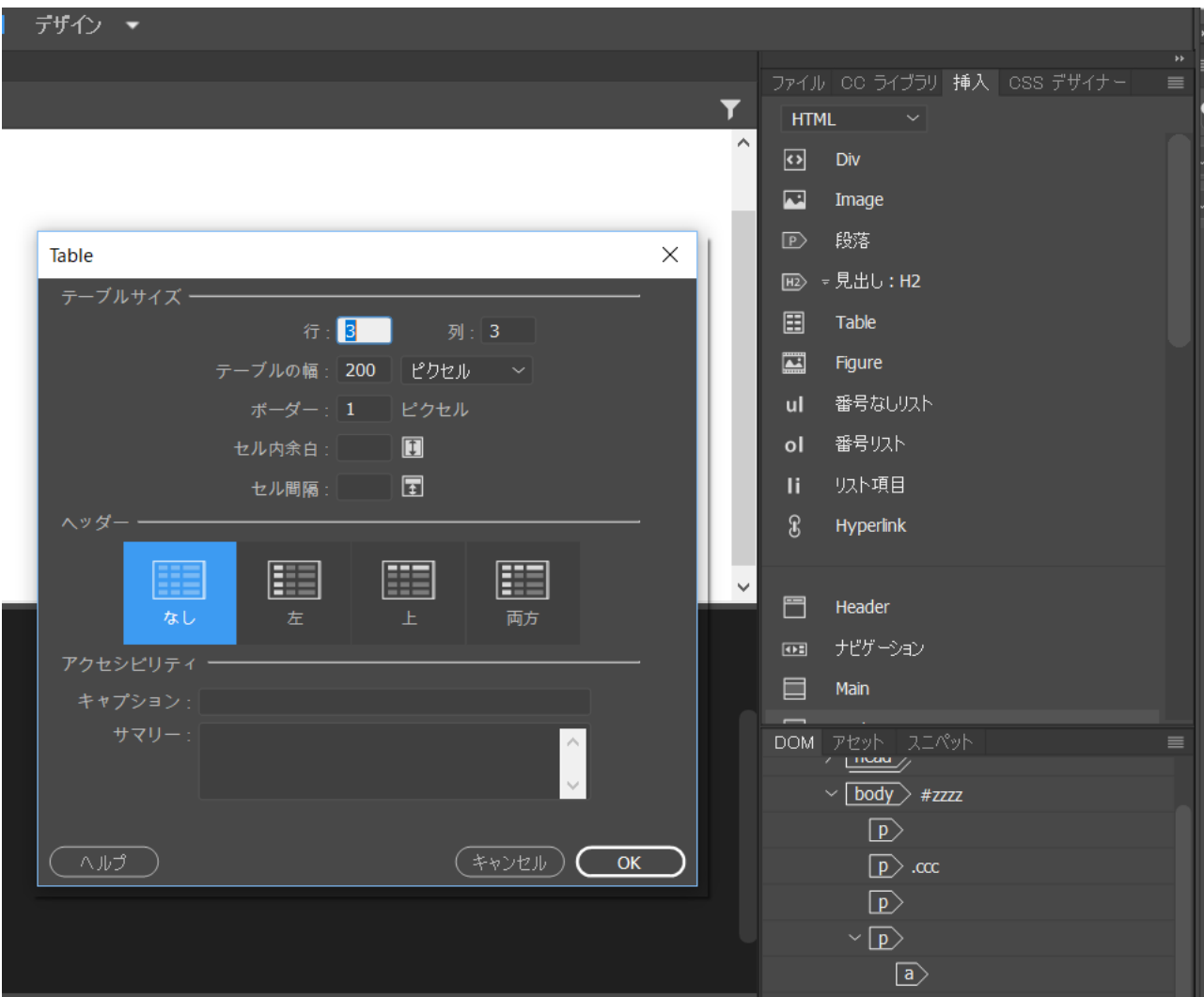
サイズや代替テキスト、リンクはプロパティから変更可能です。

・class idの打ち込み

選択したコードにclass「.」id「#」を挿入できます。

※デザインをライブに切り替えるとこれが使えます。





・表組の作り方

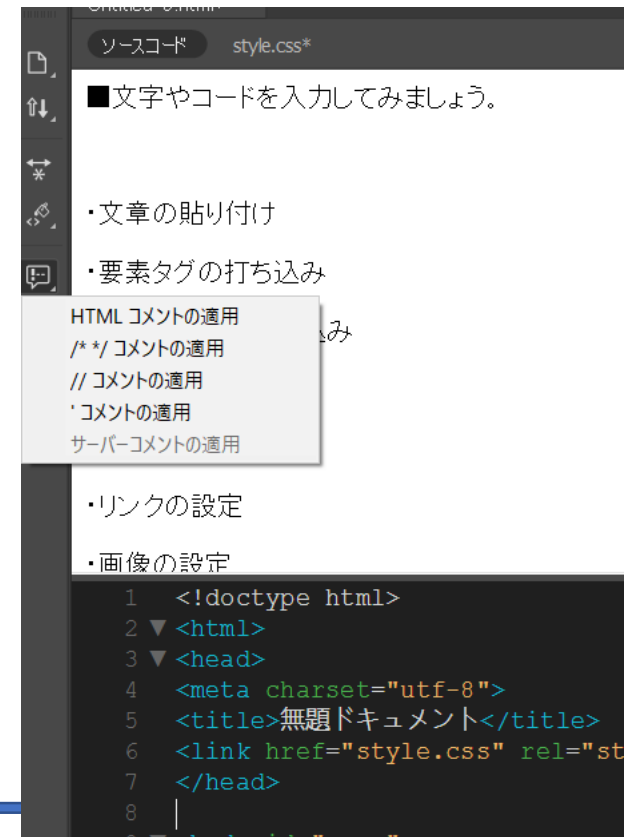
挿入パネルからtableを選んで挿入できます。

サイズや結合セルの増やし方はプロパティから変更可能です。

・コメントアウトの挿入

こちらは、コードビューを選んだ状態での挿入になります。

左のツール群から選びます。



■CSSを編集してみましょう。

・CSSファイルを読み込む

CSSファイルの呼び込み方にはいろいろありますが、用途によって使い分けましょう。

【注意点】

CSSの記述は3つあります。

◆その1

「style.css」のように別のファイルとしたものを呼び込む
※この使い方が最も使いやすく推奨です。

◆その2

HTMLファイルのページの中「<head>～ </head>」に
「<style>～ </style>」に記述する方法
※特殊なCMS等の場合使うことがあります。

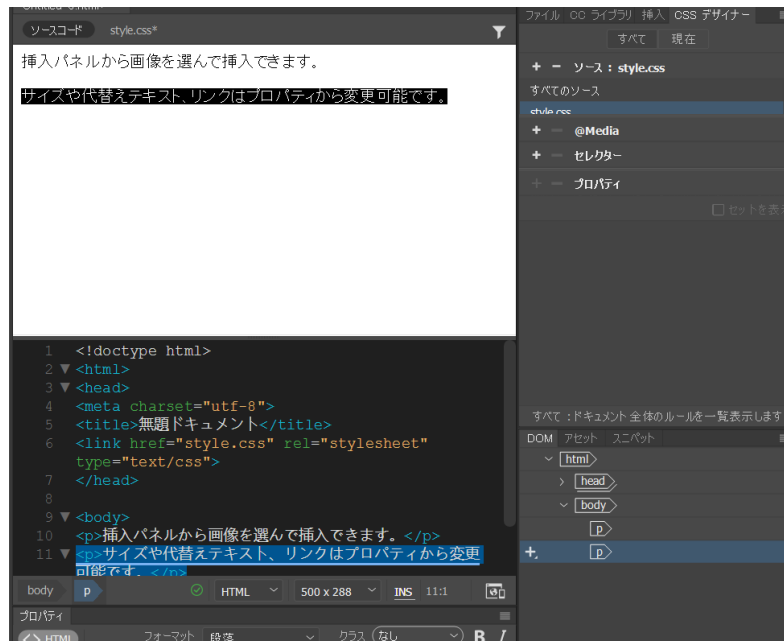
◆その3

HTMLファイルのページの中「<body>～ </body>」に
例:「<div style=“color:#f00;”>～ </div>」と記述する方法
※ワードプレスの投稿ページ等で記述する場合に使うことがある
※CSSの得点が1000点という事も特徴の一つ
※あと緊急対応で使うかも…

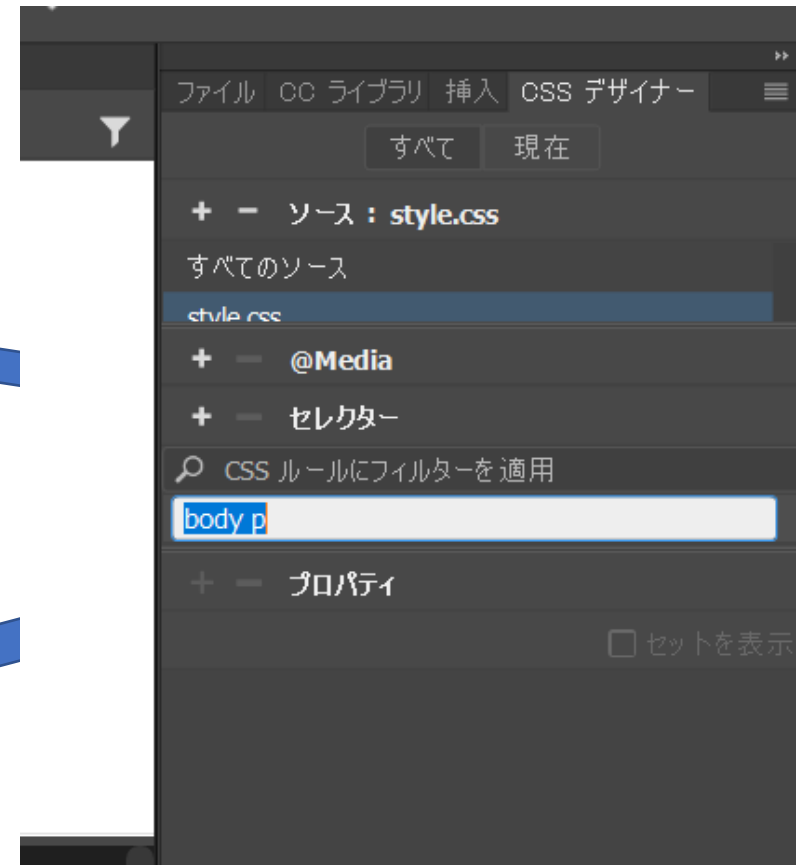


「CCデザイナー」>「新規CSSソースを追加」>「新規のCSSファイルを作成or既存のCSSファイルを添付」

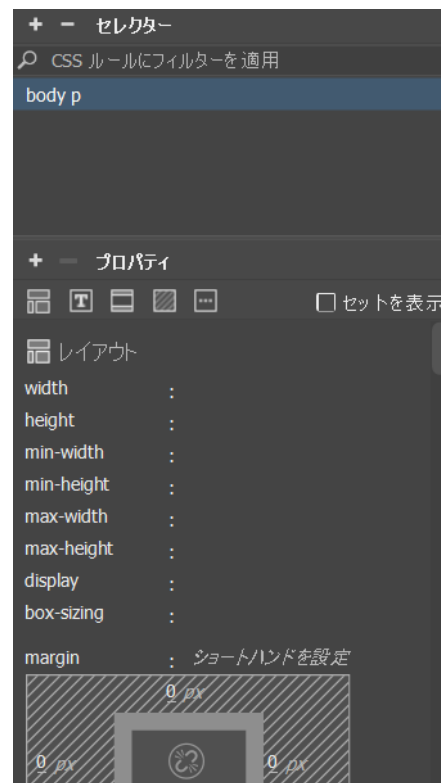
・CSSデザイナーのタブを選ぶ



CSSを適用させたい要素を選ぶ



プロパティを選び各項目を適用させる



セレクターを選び、セレクターのルールを適用させる

■ 検索・置換のやり方

検索とは、サイト全体に使われている語句やタグなどを検索する機能です。
そして置換とは、その検索した結果を違う語句やタグに書き換える事が出来る機能です。

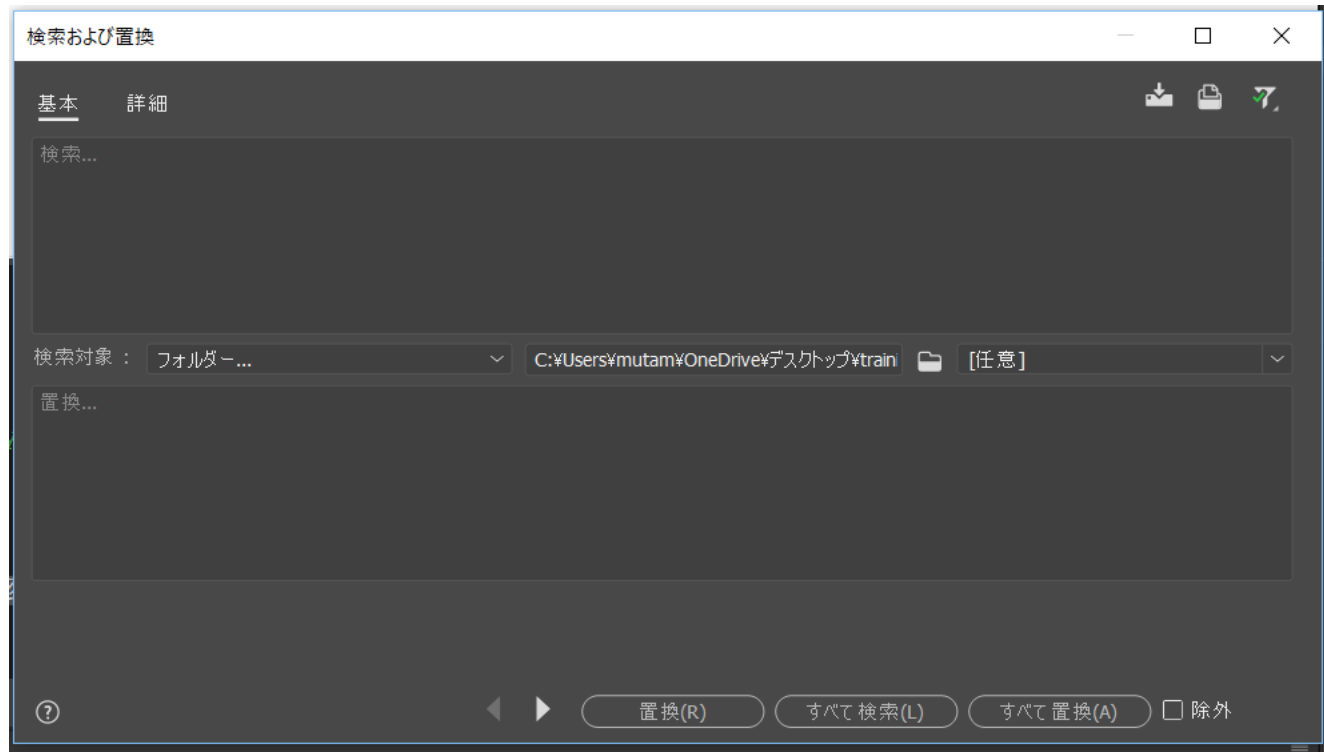
例えば、サイトを作っている途中で何ページも作ってしまっていたのに、
「Dreamweaver」と言う語句を「Dreamweaver」と記入してしまったとします。
そのサイト全体の間違いを直したいとします。

1. 検索対象を「現在のローカルサイト全体」にする
2. 検索の欄に「Dreamweaver」と入力します。
3. 置換の欄に「Dreamweaver」と入力します。
4. 右側の赤枠の中から「すべて置換」をクリックします。

これでサイト全体の「Dreamweaver」と書かれていた語句が全て
「Dreamweaver」に書き換えられます。

これは語句だけでなくタグが入っていても使えるので、ぜひ使ってみてください

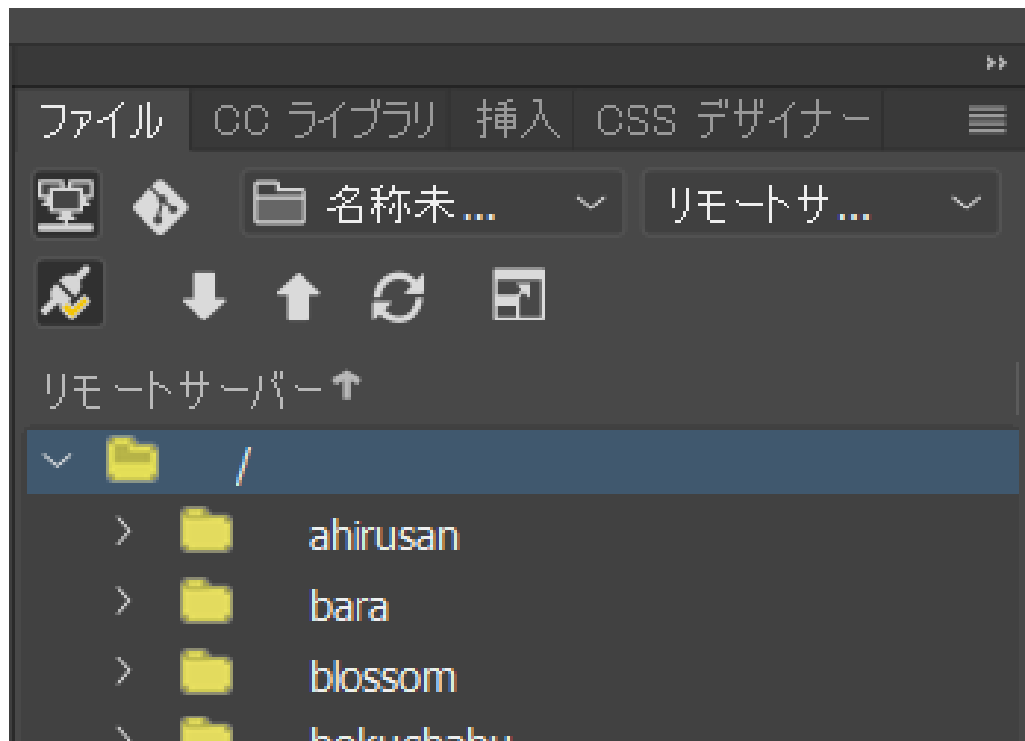
また、ファイルを横断して検索・置換が出来ます。



■ サーバーにアップロードする。

まずはメニューの「サイト」の項目から、「サイトの管理」を選びます。
そこで自分のサイトを選択し、編集をクリックします。

サイトの管理>サイト設定>サーバー>新規サーバーの追加



Dreamweaverの「ファイル」より、リモートサーバーを選択すると接続できます。